



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 K&Oエナジーグループ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 1663 URL <https://www.k-and-o-energy.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 緑川 昭夫
 問合せ先責任者（役職名） 総務部マネージャー（氏名） 石田 広成（TEL）0475-27-1011
 半期報告書提出予定日 2024年8月13日 配当支払開始予定日 2024年9月2日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	48,834	△3.1	5,606	8.2	5,930	5.6	3,699	9.5
2023年12月期中間期	50,392	2.8	5,180	32.3	5,615	33.3	3,376	30.6

(注) 包括利益 2024年12月期中間期 5,127百万円(30.2%) 2023年12月期中間期 3,937百万円(40.0%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	138.81	138.19
2023年12月期中間期	126.87	126.22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	115,973	97,301	81.4
2023年12月期	111,445	92,929	80.9

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 94,401百万円 2023年12月期 90,185百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	17.00	—	21.00	38.00
2024年12月期	—	20.00	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	22.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2024年12月期の期末配当金につきましては、前回予想の1株当たり20円に、2円を加えた22円とする配当予想に修正いたしました。詳細につきましては、本日（2024年8月9日）公表いたしました「2024年12月期（第11期）配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	94,600	△1.8	7,800	△19.3	8,700	△16.4	5,300	△18.0	198.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年12月期中間期	28,336,061株	2023年12月期	28,336,061株
2024年12月期中間期	1,680,419株	2023年12月期	1,704,354株
2024年12月期中間期	26,649,171株	2023年12月期中間期	26,616,881株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社グループの業績は、ガス事業の比重が高いことから、その性質上、気温などの影響により著しい季節的変動があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあり、緩やかな回復がみられました。一方、物価の上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動の影響が懸念されるなど、依然として先行きは不透明な状況が続きました。

こうしたなか、当中間連結会計期間の売上高については、主に販売価格の低下によってガス事業の売上高が減少したことなどにより、3.1%減少の48,834百万円となりました。一方、ヨウ素販売価格の上昇などにより、営業利益は8.2%増加の5,606百万円、経常利益は5.6%増加の5,930百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は9.5%増加の3,699百万円となりました。

なお、増減の比較については、全て「前年同期」との比較であります。また、当社グループの業績は、ガス事業の比重が高いことから、その性質上、気温などの影響により著しい季節的変動があります。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

<ガス事業>

大口工業用向けのガス販売量が増加したものの、輸入エネルギー価格の影響によりガス販売価格が低下したことなどにより、売上高については6.2%減少の38,782百万円となりました。一方、営業利益についてはガス仕入費用の減少等により、9.2%増加の3,514百万円となりました。

<ヨウ素事業>

為替相場が円安で推移したことなどによりヨウ素販売価格が上昇したことや、ヨウ素販売量が増加したことなどにより、売上高については20.5%増加の6,570百万円、営業利益については15.9%増加の3,726百万円となりました。

<その他>

電力事業・建設事業の売上高が減少したことなどにより、売上高については3.6%減少の3,481百万円、営業利益については34.8%減少の299百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

なお、増減の比較については、全て「前連結会計年度末」との比較であります。

<資産の部>

流動資産は有価証券の増加などにより、5.8%増加の46,934百万円となりました。また、固定資産は投資有価証券の増加などにより、2.9%増加の69,039百万円となりました。以上の結果、資産合計は4.1%増加の115,973百万円となりました。

<負債の部>

流動負債は支払手形及び買掛金の減少などにより、3.9%減少の12,144百万円となりました。また、固定負債は繰延税金負債の増加などにより、10.9%増加の6,527百万円となりました。以上の結果、負債合計は0.8%増加の18,672百万円となりました。

<純資産の部>

純資産合計は利益剰余金の増加などにより、4.7%増加の97,301百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間のキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

なお、増減比較については、現金及び現金同等物の中間連結会計期間末残高については「期首」との比較、キャッシュ・フローについては「前年同期」との比較であります。

＜現金及び現金同等物の中間連結会計期間末残高＞

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の期末残高は、16,078百万円(28.6%減少)となりました。

＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞

税金等調整前中間純利益や減価償却費などにより、8,084百万円(40.7%増加)の収入となりました。

＜投資活動によるキャッシュ・フロー＞

有価証券及び投資有価証券の取得や有形固定資産の取得などにより、13,937百万円(5.6%減少)の支出となりました。

＜財務活動によるキャッシュ・フロー＞

配当金の支払いなどにより、578百万円(36.0%増加)の支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の業績予想については、大口工業用のガス販売量の増加によりガス事業の売上高が当初予想に比べ増加することなどに加え、ヨウ素の販売価格の上昇や為替相場の円安推移等により、ヨウ素事業の売上高及び営業利益が当初予想に比べ増加する見通しとなりました。その結果、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前回発表予想に比べ増加する見通しとなりました。

以上の理由により、2024年2月14日付の「2023年12月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想を下記のとおり修正しております。

2024年12月期通期連結業績予想数値の修正(2024年1月1日～2024年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 92,200	百万円 6,800	百万円 7,500	百万円 4,600	円 銭 172.73
今回修正予想(B)	94,600	7,800	8,700	5,300	198.86
増減額(B-A)	2,400	1,000	1,200	700	—
増減率(%)	2.6	14.7	16.0	15.2	—

また、2024年12月期の期末配当金につきましては、前回予想の1株当たり20円に、2円を加えた22円とする配当予想に修正いたしました。詳細につきましては、本日(2024年8月9日)公表いたしました「2024年12月期(第11期)配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,179	15,747
受取手形、売掛金及び契約資産	11,183	9,359
有価証券	5,499	17,621
棚卸資産	2,273	2,264
その他	2,240	1,945
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	44,371	46,934
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,571	9,328
機械装置及び運搬具(純額)	19,285	18,756
その他(純額)	11,994	12,899
有形固定資産合計	40,851	40,983
無形固定資産		
	1,620	1,638
投資その他の資産		
投資有価証券	12,955	14,974
その他	11,680	11,476
貸倒引当金	△34	△34
投資その他の資産合計	24,601	26,416
固定資産合計	67,074	69,039
資産合計	111,445	115,973
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,600	4,891
引当金	32	89
未払法人税等	1,817	1,991
その他	4,181	5,171
流動負債合計	12,631	12,144
固定負債		
退職給付に係る負債	4,258	4,305
引当金	249	291
繰延税金負債	794	1,195
その他	582	733
固定負債合計	5,885	6,527
負債合計	18,516	18,672

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,000	8,000
資本剰余金	13,943	13,977
利益剰余金	68,025	71,165
自己株式	△1,208	△1,192
株主資本合計	88,761	91,950
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,146	2,177
退職給付に係る調整累計額	277	272
その他の包括利益累計額合計	1,424	2,450
新株予約権	177	162
非支配株主持分	2,566	2,737
純資産合計	92,929	97,301
負債純資産合計	111,445	115,973

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	50,392	48,834
売上原価	40,219	37,823
売上総利益	10,172	11,011
販売費及び一般管理費	4,992	5,404
営業利益	5,180	5,606
営業外収益		
受取利息	136	148
受取配当金	211	98
その他	96	86
営業外収益合計	444	333
営業外費用		
支払利息	4	5
その他	4	3
営業外費用合計	9	9
経常利益	5,615	5,930
特別利益		
移転補償金	—	267
特別利益合計	—	267
特別損失		
固定資産除却損	141	205
環境対策引当金繰入額	—	60
その他	14	7
特別損失合計	156	274
税金等調整前中間純利益	5,459	5,923
法人税等	1,703	1,844
中間純利益	3,755	4,079
非支配株主に帰属する中間純利益	378	379
親会社株主に帰属する中間純利益	3,376	3,699

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	3,755	4,079
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	170	1,052
退職給付に係る調整額	12	△4
その他の包括利益合計	182	1,048
中間包括利益	3,937	5,127
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	3,554	4,725
非支配株主に係る中間包括利益	382	401

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	5,459	5,923
減価償却費	2,706	2,815
受取利息及び受取配当金	△348	△246
支払利息	4	5
売上債権の増減額(△は増加)	6,817	1,849
棚卸資産の増減額(△は増加)	△459	8
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,720	△1,709
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△239	47
その他の引当金の増減額(△は減少)	8	99
固定資産除却損	34	10
移転補償金	—	△267
その他	△972	28
小計	7,290	8,567
利息及び配当金の受取額	358	246
利息の支払額	△5	△6
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,896	△1,407
移転補償金の受取額	—	684
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,747	8,084
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,983	△2,340
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△35,870	△45,266
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	24,767	33,637
関係会社貸付けによる支出	△65	—
その他	395	32
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,756	△13,937
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	405	405
長期借入金の返済による支出	△218	△210
配当金の支払額	△450	△557
その他	△161	△215
財務活動によるキャッシュ・フロー	△425	△578
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△9,434	△6,431
現金及び現金同等物の期首残高	20,920	22,509
現金及び現金同等物の中間期末残高	11,485	16,078

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ガス事業	ヨウ素事業	計				
売上高							
顧客との契約 から生じる収益	41,326	5,453	46,779	3,612	50,392	—	50,392
外部顧客への 売上高	41,326	5,453	46,779	3,612	50,392	—	50,392
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	134	63	197	56	253	△253	—
計	41,460	5,516	46,977	3,668	50,645	△253	50,392
セグメント利益	3,219	3,214	6,434	458	6,892	△1,712	5,180

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業及び器具販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,712百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,752百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ガス事業	ヨウ素事業	計				
売上高							
顧客との契約 から生じる収益	38,782	6,570	45,353	3,481	48,834	—	48,834
外部顧客への 売上高	38,782	6,570	45,353	3,481	48,834	—	48,834
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	123	51	175	6	182	△182	—
計	38,906	6,622	45,528	3,487	49,016	△182	48,834
セグメント利益	3,514	3,726	7,240	299	7,539	△1,932	5,606

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業及び器具販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,932百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,976百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)
重要性が乏しいため記載を省略しております。